

学びを通して新しい出会いを まちだ 市民大学HATS

後期講座受講生募集中!

問まちだ市民大学 ☎729・1195

2008年度後期講座の受講生募集が始まりました。各講座の講師等、詳細は「募集案内」をご覧ください。

対象 市内在住、在勤、在学で、毎回出席可能（特別な事情を除く）な方

申し込み 「募集案内」（市役所1階市民相談室前、各市民センター、各図書館、公民館など主な市の施設にあります）または、町田市ホームページで申込み方法等を確認のうえ、**往復ハガキ（1人1通）で8月8日まで（必着）**にまちだ市民大学HATS（〒194-0022、森野1-33-10、市役所森野分庁舎内）へ。なお、返信用ハガキにもあて名を書いて下さい。応募者多数の場合は抽選となります。

「まちだ市民環境講座」 地球環境危機と町田の暮らし	
会場：森野分庁舎 4階会議室 費用：3000円（全11回） 時間：18:30～20:30	
日程	テーマ・内容
9/17(水)	基調講義「地球環境と市民」
9/24(水)	地球環境問題をどう考えるか
10/1(水)	世界をめぐる食糧と資源： エコロジカルフットプリント・環境容量の視点から【公開講座】
10/15(水)	東京都の地球温暖化対策
10/22(水)	気候変動と町田の川
10/29(水)	地球人を育てる センス・オブ・ワンダーからの環境教育
11/5(水)	次世代に繋ぐ 町田の環境教育
11/12(水)	生きものにぎわい 生物多様性と外来生物問題を裏山と裏庭で考える
11/19(水)	第三次生物多様性国家戦略について 【公開講座】
11/26(水)	サステナブルシティへの道 環境と都市計画
12/3(水)	受講生ディスカッション「わたしと環境」

環境にやさしい陶芸入門講座	
会場：「陶芸スタジオ」下小山村町4016番地 費用：1万5000円（全9回） 時間：13:30～15:30 10/23のみ大地沢青少年センターで10:00から	
期日	
9/11、18、10/2、9、16、23、11/13、20、12/18 いずれも木曜日	

「心と体の元気学」 さあ始めよう、楽しい健康づくり	
会場：総合体育館（南成瀬） 費用：3000円（全10回） 時間：9:30～11:30	
日程	テーマ・内容
9/11(木)	レクリエーションスポーツ
9/18(木)	リズム運動
9/25(木)	スロートレーニング
10/2(木)	エアロビクス
10/9(木)	家庭でできる簡単な筋トレとストレッチ
10/16(木)	阿波踊り
10/23(木)	阿波踊り
10/30(木)	健康ウォーキング
11/6(木)	カローリング
11/13(木)	カローリング

「町田の郷土史」明治から現代まで	
会場：森野分庁舎 4階会議室（例外あり） 費用：3000円（全12回） 時間：18:00～20:00	
日程	テーマ・内容
9/11(木)	基調講義「町田市はどんなまちか？」 - 明治から現代まで -
9/18(木)	町田の明治維新 - 一掃一新と文明開化 -
9/25(木)	自由民権運動と町田 - 民権運動とその行方 - 【公開講座】
10/4(土)	現地学習「目で確かめる町田の歴史」 - 自由民権資料館 他 -
10/9(木)	町田の女性と若者 - 石阪美那、登志を中心に -
10/16(木)	大正時代の町田 - 大正デモクラシーと関東大震災 -
10/23(木)	受講生同士の郷土史フリートーク
10/30(木)	街道と鉄路 - 横浜線開通100周年 -
11/6(木)	絹の道と原町田 - 市場から商店街へ -
11/13(木)	民俗の変貌 - 高度成長下の人々の暮らし -
11/20(木)	市域の発展と町田の文学 - 変貌する文学者たちの周辺環境 -
11/27(木)	町田市の誕生 - 多摩丘陵にはばたく市民文化都市へ -

「まちだ市民国際学」 中国の今を知る・私たちの未来を考える	
会場：森野分庁舎 4階会議室 （11/18のみ市民フォーラム） 費用：3000円（全12回） 時間：18:30～20:30	
日程	テーマ・内容
9/16(火)	オリンピック後の中国 市民社会への模索
9/30(火)	現代中国の政治・外交・軍事
10/7(火)	日本企業にとっての中国市場
10/14(火)	中国経済の現状 日中関係を中心に
10/21(火)	中国のエネルギー事情と環境政策
10/28(火)	アフリカに進出する中国
11/4(火)	女性の社会進出と家族 少子高齢化社会と福祉を考える
11/11(火)	農村問題と格差と教育
11/18(火)	中国の伝統芸能・京劇を知る 町田での日中文化交流について【公開講座】
11/25(火)	桜美林学園と中国の教育交流 その歴史と現在
12/2(火)	大連で日本語を教える 町田で日本語を学んで
12/9(火)	これからの日中関係

「人間科学」現代の「生老病死」と向き合う	
会場：森野分庁舎 費用：3000円（全12回） 時間：18:30～20:30	
日程	テーマ・内容
9/19(金)	生きて在ること 生命倫理への問い
9/26(金)	私達の社会と生命技術 生命の進化からみた現代の生命技術
10/3(金)	つくられる欲望と管理される身体・生命 不妊治療・胎児診断・遺伝子技術
10/10(金)	いのちの文化史 美術が語る生老病死 【公開講座】
10/17(金)	医療と人権 - 薬害肝炎から考える -
10/31(金)	現代社会と人のいのち - 水俣病50年 -
11/7(金)	メランコリーと創造性 - 抑うつから生き生きとした毎日 -
11/14(金)	ヒトはどうして老いるのか 老いと死を科学する
11/21(金)	超高齢社会の老いと死 - その現実といのちの政治 -
11/28(金)	私の目指す終末期医療と緩和ケアについて
12/5(金)	人間の尊厳について 生と死の自己決定権の危うさ
12/12(金)	まとめと話し合い - いのちを考える -

町田の農業

がんばっています

町田市は都内でも農業の盛んな地域です。今回はその一部を皆様にご紹介します。

○環境に優しく

最近、食の問題が注目されています。市では農業や化学肥料を減らした安全・安心な農作物の生産を推進しています。市内にいる45人のエコファーマーと8人の特別栽培農産物認証農家が生産した農作物がJAアグリハウス等で販売されています。



それぞれ目印のシールが張ってあります。左=エコファーマー、右=特別栽培農産物

エコファーマー：堆肥等による土づくりと化学肥料や農薬使用の低減を導入する計画を都知事より認定された農業者の愛称
特別栽培農産物認証：都が化学肥料や農薬の使用を5割以上削減した都内産の「特別栽培農産物」について認証する制度で、定期的に生産過程も確認される

○東京でも畜産

東京という大消費地に近い利点を生かし、新鮮な牛・豚肉や卵、牛乳を提供しています。

○農業を身近に

農業を体験してみたい方には、市民農園や体験農園があります。また、親子で参加できる米作り体験や、小学生を対象とした夏休み酪農体験（右記参照）も実施しています。毎年11月には、野津田公園で農業祭「太陽と緑のまつり」が開催されるほか、JA町田市各支店でも様々なイベントが行われます。

○学校給食に

市内小学校の学校給食に、地元の農産物が使われています。これまでに町田産のお米やタケノコを使った学校給食を実施し、子どもたちに好評でした。

○農地を大切に

かつて市内のいたるところにあった農地も、急速に減少しています。農地は、農産物の生産のほかに、温暖化防止や癒しの空間といった役割も担っています。ゴミを捨てたり、作物にいたずらをしないようお願いいたします。

今こそ農業を見直そう

私たちが生きてゆくためには「食」を欠かすことはできません。「食」と密接な関係にある農業ですが、後継者不足や高齢化等により、衰退の一途をたどっています。市内の食糧自給率は、わずかに過ぎず、41万人を超える市民の皆さんに充分に行き渡らないのが現状です。世界的な食糧危機が叫ばれている今こそ、農業を見直しましょう！

問 農業振興課 ☎724・2166

日曜特別朝市

7月20日(日) 午前7時～8時30分

夏野菜・名産品がいっぱい！
会場 教育センター（境川団地隣接）



夏休み酪農ふれあい体験

市内にある酪農家宅で牛にエサを与えたり、牛乳をしぼったり農作業を体験します。宿泊は大地沢青少年センターです。

対象 市内在住の小学4～6年生で2人1組（男女不問、1人も可）
期日 8月20日（水）～21日（木）
定員 13組26人（抽選）
費用 1人2000円（保険料等）
申し込み 往復ハガキ（1組1枚）に「酪農ふれあい体験申し込み」と書き、参加者の住所・氏名（ふりがな）・学年・電話番号・保護者の氏名を明記し、返信用にもあて先を書いて、7月24日まで（消印有効）に農業振興課（〒194-0022、森野1-33-10、市役所森野分庁舎内、☎724・2166）へ。
結果は全組に通知します。

